

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者(1名)が夜間、頻繁におむつを外してしまうため、家族の了承を得て「身体拘束廃止委員会」で検討したうえで調理用のミトンを夜間のみ使用し、簡単におむつが外れないようにしている。	身体拘束はしないことが基本なので、ミトンの使用を介護計画に盛り込み、モニタリングを参考に就寝時や本人の気分によって外す取り組みをしてみる。	夜間 ミトンをつけたときの記録を詳細に記録する。それによって、就寝時や排泄のタイミングではずす時間を作ったり、長くしていく。また、おむつの種類や方法を変えてみる等、ミトン以外の身体拘束にあたらぬ方法を試してみる。	3ヶ月
2	26	毎月1回、ケアマネージャーがモニタリングをしている。更新時や年に1回はアセスメントに基づいて介護計画の見直しをし、利用者・家族の意向に沿った介護計画の作成に努めている。	毎月のモニタリングを踏まえ、利用者のミトンを外すためにはどうしたら良いかという課題に対して、毎月介護計画を見直すという取り組みをする。	月1回のモニタリング時、他職種に状況を聞きながら必要な部分を月1回の介護計画更新時に直し、身体拘束廃止に努める。	3ヶ月
3	35	今年度は消防署の立会いの無い避難訓練を定期的に実施しているが、いざという時に職員や利用者がすぐに行動に移れるよう、具体的に想定した自主訓練をもっと頻繁に行ったほうが良い。	月に1度程度の自主訓練を増加して不測の事態に備える。火事だけでなく、地震・水害といった災害時への対応も必要である。	緊急時対応として、全職員・利用者が避難方法を身に着けるため、月に1回程度自主避難訓練を行い、行った日時を記録を残す。地震・水害と言った自然災害への対応もマニュアルを作成し、非常時に備える。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。